

**組合に相談しよう**  
 不払い相談、融資・税金相談、教育資金、サラ金、生活保護、社保未加入問題…  
**練馬支部 03-3825-5522**

# けんせつ北部

定価三十円

購読料は組合費に含まれています。

発行所  
 東京土建一般労働組合  
 城北ブロック会議  
 東京都豊島区西池袋5-22-15  
 板橋 (3963) 5325  
 練馬 (3825) 5522  
 豊島 (3986) 2471  
 北 (3902) 7121  
 発行人 代表者 川合 正人  
 発行日1日、9日、17日、25日

## 秋の拡大月間 目標を超過達成!



上原組織部長が達成を祝ってだるまの目入れ (11月1日秋の拡大月間打ち上げ式)

**286人の新しい仲間迎える**

9月・10月でとりくんだ秋の拡大月間は、286人の新しい仲間を迎え、達成しました。年間12%の達成は14分会、月間3・5%目標は23分会が達成しました。

11月1日にココネリホールでひらいた秋の拡大月間「打ち上げ式」には、125人が参加。上原組織部長、赤松青年部長がだるまの目入れで月間目標達成を祝い、各分会がそれぞれ登壇し、月間のとりくみを振り返りました。

2023年度本部「分会・青年・主婦・シニア機関紙コンクール」の選考が11月12日の通信員総会で行なわれ、練馬支部からは5紙が特選、4紙が入選を受賞しました。

### 分会等機関紙コンクール 練馬支部から9紙が特選・入選

おめでとうございます。

特選紙の選考は外部審査委員により、入選紙の選考は各支部の通信員に

より行なわれました。《特選紙》

信員総会には、肥野支部

高松分会「たかまつ」

学園分会「桜並木」

石神井台分会「わかば」

新豊玉分会「新とよたま」

支部女性の会「ねりまの母ちゃん」

《入選紙》



月間の奮闘をねぎらい乾杯!

よかった」(関町分会)など歓迎されました。行動日での組合員訪問、群集約する「分会なかま名鑑(仕事編)」「づくりの対話運動にもとりくみました。

ミニ運動会できずな深める

また、10月8日に光が丘公園陸上競技場で開いた「全世代交流ミニ運動会」には、全分会から471人の仲間が参加し、競技をつうじて「分会の垣根を超えた交流ができた」、「なにより、みんなが笑顔だったのがうれしい」といった感想が数多く寄せられ、仲間のきずなを深める充実した一日となり、拡大月間の後半戦に向けて団結を深めました。

拡大月間終了後の11月1日組織人員は6427人となり、今年1月1日の組織人員6491人まで64人に迫りました。

22日)に各分会でとりくみ、それぞれ147人(9月)、203人(10月)が参加。参加した仲間から「税理士に任せてあるから登録が必要かどうか、十分理解がないまま、会社から言われて登録後に対応塾」(10月

おめでとございます。受賞紙の表彰は来年2月11日の本部第5回教育会で行なわれます。

### ねりま大根



▼インボイス開始からひと月。支部事務所に実務対応の相談が相次ぐなか、インボイス未登録(免税業者)を理由に施主から消費税分の値引きを求められたという深刻な相談も。弊害と混乱は広がる一方だ▼混乱といえは、マイナ保険証も同じ。今度、高齢者・障害者向けに暗証番号不要の「保険証限定」のマイナカードを発行するという。カード未取得者への「資格確認証」、70歳以上で自己負担割合が変更された際の「資格情報のお知らせ」などマイナ保険証を補う書類が次々と現れ、一体何のための保険証廃止か、訳がわからない混乱ぶりだ▼利用率が4%台に低迷するマイナ保険証。厚労省の調査ではマイナ保険証で診療情報を閲覧する仕組みを使っている病院の半数が「患者にとつての利点はない」と回答した。業を煮やした政府は、補正予算でマイナ保険証の利用を増やした医療機関向けの補助金に217億円を充てるという。保険証を残せば済む話なのに、なりふりかまわず無駄に税金を投入する▼インボイスも紙の保険証廃止も即刻中止・撤回すべきだ(文)



光が丘公園の会場（旭町光が丘分会）

# 秋の住宅デー開催

秋の住宅デーが11月12日(日)、区内27会場で開催されました。当日の朝は雨が降り寒い一日となりましたが、各会場で包丁研ぎ、住宅相談、子ども工作教室など様々な企画がとりくまれ、地域との交流を深めました。



住宅相談コーナーとともに職人紹介コーナーも設置（上石神井分会）

各会場とも  
多彩な企画で  
地域と交流



防災士の資格を持つ2群の藤原緑朗さんによる防災講話も（谷原台分会）



ゲームコーナーは子どもがいっぱい（富士見台分会）



定番の子供工作教室（大泉東分会）・包丁とき（土支田分会）



## 練馬まつり

### 今年も「かな削り体験」を実施



10月15日に開催された「練馬まつり」。練馬支部は開進第二中学校で「かな削り体験」を実施しました。割り当てられたスペースが狭いため、来場者もまばらな状況で実施しました。当日は朝からの強雨で

したが、呼び込みも行い60人の子供たちが仲間の手助けを受け、満足げに自分で削ったヒノキの舟を持ち帰りました。「昨年も参加した」という子供や、大工さんがかな掛けを行う姿を見て興味を持って参加する子供もおり、「上手にできてるね!」という仲間の優しい声掛けに、うれしそうに笑顔を見せる子供たちの姿が印象的でした。住宅デーチラシの配布も行いました。



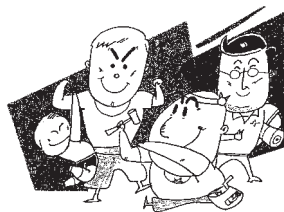
7人の仲間と簡易担架体験を行いました



関町地域では、関町南北町会を中心に町会の枠を超え地域の防災力をアップさせようと2018年に関町防災ネットワークを結成。関町分会も含め12団体が協力して毎年

## 関町分会

### 地域防災ネットワークの一翼を担う



「防災体験会」を実施しています。今年の体験会は10月22日に関町小学校で行なわれ、171人が参加。関町分会は7人の仲間と簡易担架の体験を実施。来場者に簡易担架の作り方を教え、簡易担架での人の搬送を体験してもらいました。

関町南北町会の野口会長からは「大成功の体験学習会になりました。関町分会の参加、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします」との言葉が寄せられています。

# インボイス制度



## どうなる!?どうする?

練馬支部も参加する  
「3・13重税反対ねりま実行委員会」が10月24日、ココネリ研修室で「どうなる!?どうする? インボイス制度」学習会を

ひらき、39人(練馬支部25人)が参加しました。

学習会では、インボイス制度反対の立場から「STOP!インボイス」の電子署名提出の記者会見にも参加した佐々木淳一(税理士(税理士法人東京南部会計)が講師をつとめました。

佐々木さんは、消費税は消費者からの「預り金」ではなく、「事業者の売上」に負担を求める税金であり、利益率が10%もいかない中小業者に赤字でも税金をかける「悪魔の税制」と指摘。



講演する佐々木税理士

この税制のなかに免税事業者を取り込むのがインボイス制度とのべ、ひきつづき100万人をめざして反対署名の運動をすすめようと呼びかけました。

そのうえで、インボイス制度のもとでの税務実務上の対応について、「2



参加者からは、「納税は大切だと思うけど、かかるべきところから課税してほしいです」、「企業

の経理担当者ですが、取引先のインボイス番号の調査や社内通達の作成・周知など、まさに影響を受けています。なんとかして廃止するために、できることは何でも協力したいと思っています」といった感想が寄せられました。

学習会には、練馬区選出の山岸一生衆議院議員も来場し、あいさつしました。

また、学習会に先立ち、練馬駅南口でSTOP!インボイスの宣伝行動を行いました。

## 秋の大手企業交渉

### 担い手確保・賃金アップを訴え

秋の大手企業交渉が10月19日と20日を中心に行なわれ、原材料高騰への対策、賃金引き上げなどを訴えました。

練馬支部は、福岡委員

長と中山賃金対策担当執行委員が熊谷組、小谷賃金対策担当執行委員と兼担い手不足の課題を取り上げ、「賃金アップを」と要望。新菱冷熱工業では、「優良職長制度は励

みになるので設けてほしい」、「現場情報を外部に漏れいするといった対処ほしくないよう」要望しました。

大手企業交渉に向け

て、練馬支部は、現場実態調査アンケートや練馬支部会館での大手現場従事者交流会を実施(10月11日)。「夏の暑い中、何を言っているか聞か

ない朝礼で立たされてい

た(竹中)、「工程がひどい(鴻池)」、「CUSカード1回しか使えていない(大林)」、「建退共がCUSに連携するようになってほしい(大林)」、「現場情報を外にもらすなどといった悪しき風潮がある」、「工程表を書けない所長が多くな

どネコン現場における問題点・改善要望が出されました。また「鉄骨が落下してくる危険な現場に怖くて社員を送り出せない(9・19東京駅八重洲のビル大林・大成JV建設工事現場事故)と徹底した安全管理を求め

た情報は事前に本部に伝えました。

## 「一般建築物石綿含有建材調査者」学習交流集会

10月20日、3回目となる本部「一般建築物石綿含有建材調査者」学習交流集会が開催され、練馬支部から6者の事業者がオンライン参加しました。現場での調査方法の紹介や役所への報告画面

### 調査と報告の手順を学ぶ

#### 調査と報告の手順を学ぶ

10月20日、3回目となる本部「一般建築物石綿含有建材調査者」学習交流集会が開催され、練馬支部から6者の事業者がオンライン参加しました。現場での調査方法の紹介や役所への報告画面

## 「保険証交付の存続」要請署名

### 練馬支部6272筆

#### 全国で50万筆超える

9月末まで取り組んだ「国保組合の育成・強化、保険証交付の存続を求め

付の重要性を訴え、同局長は「50万の署名を受けて皆さんの思いを感じた」、「ご要望いただいたことはよくわかる」と理解を示しました。ただ、岸田政権は来年秋の紙の保険証廃止・マイナ保険証一本化の方針を崩しておらず、引き続きの運動が重要になっています。

## 働き方改革 事業所連続セミナー

建設業の「働き方改革への対応」がいよいよ2024年4月に迫るなか、事業所での働き方を見つめなおし、従業員としっかりと話し合いながら、労働時間についての取り決めが必要となっ

# 練馬区で弾道ミサイル避難訓練 「脅威をあおる」と抗議の声

2つの自衛隊基地を抱える練馬区で11月6日、内閣官房消防庁が主催、「X国から弾道ミサイルが発射され、我が国に飛来する可能性がある」と判明」との想定で住民避難訓練が行なわれ、多くのマスコミの取材と抗議の声のなか、練馬駅周辺は一時騒然とした空気に包まれました。

「ミサイルは自然災害?」  
「自分の身は自分で守れ」

訓練には、区が募集した町会や団体役員ら約60人が参加。



平成つつじ公園での訓練の様子

訓練は東京都練馬区、Jアラートの模擬音声に合わせ、練馬駅の改札口付近と平成つつじ公園で頭を抱えしやがみこむ訓練が行なわれた。訓練終了の講評で、内閣官房、東京都、練馬区は、まるでミサイル(戦争)が自然災害であるかのよう「自分の身は自分で守れ」と繰り返すだけでした。戦争を想定した訓練に対して、練馬駅では市民団体「戦争に協力しない!させない!練馬アクション」(ねりま9条の会など)が「脅威をあおるミサイル避難訓練反対」の抗議行動を行いました。



Jアラートの模擬音声で一斉にしゃがみこむ



訓練には抗議の声が起きました



## ガザ即時停戦! 憲法9条を生かした外交を 120人が石神井公園駅で緊急宣伝行動

憲法公布77年の11月3日、イスラエルによるパレスチナ・ガザ大規模攻撃の即時停戦を求め、戦争法NO!ねりま集会実行委員会による宣伝行動が石神井公園駅で実施されました。緊急の提起にもかかわらず、実行委参加団体をはじめ120人超が参加する大宣伝行動になりました。緊急の行動となつたため練馬支部では組織的な参加とはなりませんでしたが、地域九条の会からの参加など、多くの組合員が参加しました。

宣伝行動では、労働組合、平和団体、女性団体、ミュージシャン、学者、国会・都議会・区議会議員によるリレートーク、シール投票・署名・リーフ配布がおこなわれ、「ガザでのジェノサイドを許すな、政府は憲法9条を生かした外交を」と区民に訴えました。

## つなごう憲法をいかす未来へ 11・3 憲法大行動に4,000人

11月3日、国会正門前に、総がかり行動実行委と9条改憲NO!全国市民アクションが主催した憲法大行動に4000人(練馬支部6人・土建全体で175人)の市民が集結。「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有するとし、国際紛争の解決の手段としての戦争を永久に放棄した日本国憲法の実践こそ今求められる」と訴え、「戦争反対」「憲法生かして暮らしを守ろう」とコールを上げました。

# 読者のひろば

久しぶりの運動会  
分會  
まるで戦国時代

前回の運動会はなんと10年前の9月29日でした。今回久しぶりのミニ運動会ということで、分會の仲間が皆さん気を良くして参加してくれました。秋晴れの空の下でリレーやゲームで身体も程よい疲れで仲間の絆を深めることができました。(矢吹光英さん/大泉東)

農作物はどうなるでしょう。物価高が続きます。心配。(梶野政隆さん/関町分會)

イラストは早瀬由香里さん/早宮分會



# 求人

株式会社インテリア加藤(中村分會)  
練馬区中村南3-15-2  
☎090(2257)9797  
土木・RC・外構工(正)

規1人 経験者優遇・見習い・要普免/現場管理スタッフ(正規1人) 経験者優遇・要普免 たかなぎ建設株式会社(富士見台分會)  
練馬区富士見台2-1-7  
19コーポラスI306  
☎090(3470)9704  
通信工(正規1人) 経験者優遇・見習い・要普免  
GREENS(南田中分會)  
練馬区南田中2-20-25  
1502  
☎080(8031)1237